リフォーム評価ナビNews

（リフォナビニュース）

vol.190
2017年
9月5日号
〈月3回発行〉

発行：一般財団法人 住まいづくりナビセンター
〒104-6201 東京都中央区晴海1-8-12　晴海トリトンスクエア オフィスタワーZ1階　TEL：03-5166-9053　http://refonavi.or.jp

News 1 国交省、平成30年度の予算概算要求を公表

ストック市場活性化への取り組みを強化

国土交通省は、平成29年8月29日に平成30年度の予算概算要求と税制改正要望を発表した。

住宅局関係では、重点施策のひとつとして、「既存住宅の質の向上と流通促進による住宅市場の活性化」を挙げており、ストック市場の活性化のほか、空き家対策の推進、住宅団地における持続可能な居住環境の形成などを進めていく方針だ。

具体的には、既存住宅の長寿命化などに貢献するリフォームを支援すると同時に、住宅瑕疵などに係る情報インフラを整備し、適切な維持管理やインスペクション等を促進していく。

また、長寿命化などを図った住宅が既存住宅市場で適切に評価される流通・金融などを含めた仕組みの開発も支援していきたい考え。

一方、税制改正要望については、性能向上リフォームに伴う固定資産税の特例措置の2年間延長を要望しているほか、買取再販事業に関する特例措置の延長と拡充も求めている。

現在、買取再販事業者が既存住宅を取得して、一定の質向上を図るための改修工事を行い販売する場合、買主に課せられる登録免許税を一般住宅特例よりも引下げ、事業者に課せられる不動産取得税を築年数に応じて税額から一定額減額する措置を講じている。

平成30年度の税制改正要望では、登録免許税の軽減措置を2年間延長するだけでなく、不動産取得税の特例措置の対象を敷地部分にまで拡充する措置を求めている。これにより、買取再販事業に伴うリフォーム需要の掘り起こしを図っていきたい考えだ。

News 2 建産協、ZEH実現のための製品リストを公開

ZEHのつくり方を示したテキストも

（一社）日本建材・住宅設備産業協会のエネルギー企画・普及部会は、平成29年8月23日からZEHのテキスト「ZEHのつくり方」と「製品リスト」をホームページ上で公開した。

「ZEHのつくり方」は、中小工務店を対象に外皮平均熱貫流率計算、一次エネルギー消費量計算を習得することを目的に、地域区分ごとにZEH基準適合仕様例を紹介したもの。

また、「製品リスト」ではその仕様例に即した建産協会員メーカーの推奨製品リストを紹介している。

まだZEHに取り組んでいない工務店にとっては、「ZEHのつくり方」で紹介された仕様例と「製品リスト」に掲載された製品を選択していくことで、より簡便にZEHへ取り組むことができる。なお、「ZEHのつくり方」と「製品リスト」は、http://www.kensankyo.org/download/ からダウンロードすることが可能だ。

地域区分ごとにＺＥＨ基準適合仕様例などを示した「ＺＥＨのつくり方」

注目のニュース

全国空き家対策推進協議会
950の地方公共団体などが参加し空き家対策をより一層進めるための協議会を設立

（一財）日本建築センター
「入門　近年の建築基準法及び関連制度の動向を解説する」セミナーを東京で開催　第1回 2017年12月14日、第2回 2018年1月26日

（公財）住宅リフォーム・紛争処理支援センター
「住宅相談統計年報 2017（2016年度の住宅相談と紛争処理の集計・分析）」を公表

マグ・イゾベール（株）
グラスウール断熱材の新ブランドを発売　従来品に比べて繊維飛散を50%以上削減し施工時の不快感を改善

パナソニック（株）エコソリューションズ社
【住宅用】創蓄連携システム Rタイプを発売　パワーコンディショナを取り換えることなく蓄電池を後から設置することが可能に

※下線部をクリックすると記事の詳細にリンクしています。

リフォーム評価ナビからのお知らせ

リフォーム評価ナビでは、登録事業者の実務担当者向けに「スキルアップセミナー」を、9月27日（水）に大阪で開催します。お客様からの問い合わせ内容を基に、対応策をまとめた「使いこなしガイド」を中心に、お客様から選ばれるコツ等について解説します。受講料は無料。詳細・お申込みは**こちら**。

※本メールマガジンの無断転載・引用を禁じます。